

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	教職員としての使命とともに、社会の一員であることを自覚し、公務内外にかかわらず常に、公務員としての自覚を持ち行動する。	不祥事防止会議、4月の新転任者研修等により、神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針等を活用し、法令順守についての理解を深めることができ、問題は起きなかった。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員同士が互いの人権を尊重した言動・行動を行い、働きやすい職場環境を作る。	不祥事防止会議において、不祥事防止点検資料（1月）を活用し、理解を深めることができた。必要に応じて聞き取り、指導を管理職から行い、大きな事案には至らなかった。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	児童・生徒に対応する際の適切な相談、指導の在り方について具体的な場面を想定し実践につなげる。	主に初任者・転任者向けに校内研修会を実施し、映像資料を活用して具体的な場面において児童・生徒への適切な相談、指導の在り方について職員間で意見を交換し、理解を深めた。
体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した支援、指導をチームで行う。	「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」について職員面談、職員同士の意見交換により考えや意見を共有し、障害の程度や発達段階による支援、指導の充実を図り、実践することができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜資料、別教育計画、進路関係書類等の作成・保管・廃棄を適切に行う。	不祥事防止点検資料（12月）を活用して、事故防止について理解を深めた。管理簿により、各文書の管理状況を確認して適切な保管・廃棄を実施した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	不祥事防止点検資料（4月）を活用して、事故防止について理解を深める。管理等が各文書の管理状況を定期的に確認し、円滑な業務遂行につながった。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを継続する。	不祥事防止会議をとおして、不祥事防止点検資料（11月）を活用し、事故防止について理解を深めた。飲酒等の交通事故は発生しなかった。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	適切な業務計画により、各職員が学校運営に主体的に参画し、業務のスリム化等働き方改革を推進する。	業務改善について、今年度も話し合いを行い、随時できることから実施し、業務のスリム化を図ることができた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

不祥事防止啓発・点検資料の活用、新転任者対象の研修、臨時的任用職員及び会計年度任用職員対象の研修を計画的に行うことができた。また、「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」は各学部での取り組みと、風通しのよい職場作りとして職員間の話し合いを設けて学校関係者がお互い信頼できる学校になるよう進めることができた。

令和8年度は、引き続き児童・生徒が安心して学べる学校と働きやすい職場環境を作る視点において、保護者との連携と職員間の話し合い等を行いながら「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」の取り組みの継続と、事故防止の観点から業務改善の課題解決に向けての取り組みを継続したい。